

校長のつぶやき II

校長室便り 第49号

令和2年12月10日 山内

○岩出山地域教育関係機関連携協議会 ―岩小大場校長先生の閉会の挨拶―

「地域の子どもは地域で育てよう」を合い言葉に、岩出山こども園や保育所の方々、岩出山小・岩出山中・岩出山高の校長をはじめ職員と市の教育委員会の方々の協議会が12月7日（月）に岩出山小学校会場に行われました。一年生から六年生までの授業を参観させていただきましたが、一年生と六年生では全く発達段階が違って「小学校の先生方は幅の広い指導力が求められてすごいな」と改めて感心しました。

協議会の最後に協議会の副会長でもある岩出山小学校の大場良行校長先生が次のような挨拶をされました。「これから話すことは2～3ヶ月前に岩小の先生方にはお伝えしたことです。私はその日、七十七銀行岩出山支店ATMに振り込みに行きました。2台あるうちの1台が故障中で残る1台にはお客さんが数人並んでいました。操作中の方はご年配の方で、次の方もご年配の方、次は岩高の女子生徒、そして私の順番でした。先頭の方はようやく操作を終えましたが、予想とおりに次の方もさらに時間がかかりました。岩高の女子生徒はものの数十秒で操作を終えましたが、びっくりしたのは、次の瞬間です。その生徒は私に対して『大変お待たせして申し訳ありませんでした。どうぞ。』と言って去って行きました。私はこのような状況でこのようなことを言ったことも、言われたこともなかったので、この日からその生徒のような気持ちで生活するようにしています。岩小・岩中・岩高と地域で育てられたその生徒は本当に素晴らしいと思いました。山内校長先生にお会いして直接話そうと思ひ、これまで黙っていました。何かのうちに、岩高生にお話してください。」

私は本当に岩高生のことを誇りに思います。名のり出てはくれないかもしれませんが、その岩高生と直接話してみたいです。

○緊急の全校集会 ―名のり出る勇気―

「安全で安心な学校」二年前に岩高に赴任して以来掲げてきた私の信条とすることです。

12月8日（火）お昼休みに職員室北側のサッシガラスが破損しました。全校集会で教頭先生から一人一人が意識を高く持ち、安全で安心な学校を目指そう、心当たりの生徒がいれば名のり出てほしい等の呼びかけがありました。ペットボトルを壁にぶつけて遊んでいたのが、跳ね返ってサッシに当たったとのこと。ガラスだからよかったものの、人に当たっていれば大変なことになっていました。勇気をもって名のり出てくれました。ガラスを割ったことは決してほめられるような行為ではありませんが、勇気を出して名のり出てくれたことが私はうれしい。このことにも誇りに思います。職員も生徒も一緒に「安全で安心な学校」を作りましょう。

○12月8日に思うこと ―あれから40年―

昨日までの2年生の代替旅行も大きな事故もなく無事に帰校できました。震災の被災地を訪問したり、コース設定の工夫にも驚かされました。大阪や京都の現在の状況を考えればやむを得ない決断でした。

毎年この時期になると、高校一年生だった時に、ジョンレノンが凶弾に倒れた時のことを思い出します。あまりにもショックで学校を休んだ高校生もたくさんいました。学校は休みませんでした。私も相当ショックを受けました。当時ジョンレノンは40歳で、5年ぶりに新盤「ダブルファンタジー」を発売したばかりでした。あれから40年です。英国楽団好きの田舎の少年が、40年後に高校の校長になって、ジョンレノンのことを語るなんて夢にも思わなかったのです。ジョンレノンはこのコロナ禍をどのように歌ったのでしょうか。

ではこれで今回のつぶやきはお終いです。今年の授業もあと十日です。感染予防しましょう。